



大井町議会だより

2016.5.1 No.187

ひ
た
ろ
ん

定例会(第1回) 2

3月3日から17日までの15日間

一般質問 ここが聞きたい(7人) 11

委員会活動報告 15

町のこの人あの人 16

大井町に住んで47年

今も元気に唄と踊りを楽しみに

またがわ まがわ しやうこ
又川 生子さん



お帰り 今日も頑張ったね～

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp / URL <http://www.town.oi.kanagawa.jp>

この広報は、再生紙を使用しています。

・総合体育館・学校)と防犯灯を一斉LED化 センター(仮称)オープンに向けた取り組み……

平成28年度当初予算

一 般 会 計	53億3,000万円
国 民 保 険 特 別 会 計	21億3,000万円
後期高齢者医療特別会計	1億9,000万円
下 水 道 事 業 特 別 会 計	5億7,400万円
介 護 保 険 特 別 会 計	10億4,000万円
水 道 事 業 会 計	4億3,400万円
合 計	96億9,800万円

平成28年第1回定例会は3月3日から17日までの15日間を会期として開催され、条例や人事案件をはじめ、一般会計及び特別会計の補正予算や平成28年度当初予算案を審議しました。

初日は、町長から施政方針が示され

- ・おいきらめきプランの着実な推進
- ・チャレンジの実践
- ・『効果の見える』施策

事業の展開
・協働のまちづくり
・財政の安定

の5つの視点に重点を置いた予算編成の考え方や事業の概要が述べられました。

また、2日間にわたり行財政全般に及ぶ一般質問を7人が行い、町の考えを質しました。



上：大井小学校プール塗装・プールサイド
改修工事 1,204万5,000円

下：公園用地買収 (旧湘光園地内)
2億2,300万円
パークゴルフ場の整備も視野に入れた
活用が検討される。



上：道路改良工事
3か所総額6,500万円
写真は下山田メガソーラー内

下：相和地区「景勝地」説明板、
位置表示版設置工事45万5,000円
富士山・大山を同時に望むことができる。(柳地内)



平成28年度 事業箇所の巡視

議会では、2月29日(月)
新年度に予定される工事箇所
等4件を抽出し、現地視察を
実施、町担当者からの説明を
受けた。

町内公共施設（役場庁舎・生涯学習センター

……動き始めた中央土地区画整理 未病いやしの里

予算審査ダイジェスト

施政方針

問 農業の6次産業化の一環としてご当地弁当を製作したが、今後の生産体制や販売促進の取り組みは。

答 ようやく第一歩を踏み出した段階。今後更に商品としての価値を高めていくと同時に製造販売の体制を整えていく。



町と昭和女子大との連携によるご当地弁当

問 中央土地区画整理事業について、町が請け負う事業と組合が発注する事業のすみ分けと入札の方法や基準は。

問 相和地域活性化委員会の平成27年度の活動実績は。

答 相和地域の観光資源の掘り起こしの検討や、

また、町づくりについて組合と話し合う機会の担保は。

答 下水道については町が行い区画道路や整地等工事は組合が行なう。入札方法は町のものに準拠するのが基本である。町からの要望を伝える話し合いは行なっていくが、組合の理事会や総会で決めていく形になる。

農業体験受け入れ態勢充実のための勉強会の開催、誘客に功績のある方とのイベントの開催などを行った。

問 あしがら上地区資源循環型処理施設整備について、現状の進捗状況は。また、大井町に施設を呼び込む考えは。

答 調整会議において、現在の候補地が最適であるという認識を持って交渉を進めていると同時にごみ処理の計画を策定している。

問 平成28年12月までは他の都市計画決定の縦覧期間であり、その期間が終わり次第取り掛かれるよう計画図書を完成させたい。企業誘致については民間施設であるのでPRや調整等の協力を予定している。

歳入

問 町営住宅居住者が減少したとのことだが、件数と理由は。

答 4件であり理由は個々の事情で全て把握はしていない。昨年に募集は済み、現在入居の決定に向けて審査中。4月からは全て埋まる見込みであるが予算を立てる段階では未定であったので減額見込みとした。

問 町民税の法人分について、超過課税を適用し

一般会計

ている数とその期限は。

答 法人税割58社中24社について徴収している。期限は平成28年度までとなっている。平成29年度以降も徴収する意向でいるが、その必要性の精査と企業の理解が重要と考える。

問 償却資産の計算について、低く見積もっているのではないか。

答 法人税率と併せて企業にアンケート調査を取っているが、編成段階で篠窪のメガソーラー分が含まれていなかったためである。



未病いやしの里センターとして利用されるブルックスHD

問 育英奨学金について、当町の現状は。

答 26人を見込んでいる。就職後の返済だが、就職難もあり返済が滞る方も多い。貸付に際しては面接をし決定する。平成28年度については、返済をより働きかける意味で増額している。

現在の貸付総額は約4031万円、未償還額1799万5000円。

歳出全般

問 防犯灯LED化事業について、工事時期はいつか。

答 10月頃の見込み。国の補助金交付決定が6月頃になるので、契約はその後となる。完成は年末から年明けを見込んでいる。自治会要望による新規設置分は全町一斉LED化を待たずに別事業として設置するものである。

問 光熱費はLED化を見込んで予算をたてているか。LEDに不具合があった場合の対応は。

答 防犯灯は年間一括契約のため平成28年度予算書では平成27年度と同一となっている。削減された後に補正を考えている。

LEDは10年間のリースであり業者のものなので、交換義務は事業者にある。住民に不利益な契約ではないと考える。



記念イベントが数多く予定されている

止め撤去費に20万円、町制施行60周年イベントに130万円などである。

問 かながわ方式保健指導促進事業について、対象者をどのように抽出するのか。また、事業の先にどういう展開ができるか。

問 ふるさと夏まつり事業補助金について380万円の増額となっているが、その積算根拠は。

答 会場がブルックス敷地内に変わることや町制施行60周年イベントによるものが大きい。内訳は会場設備が320万円から550万円に増額。照明・音響機器の増設。警備代、駐車場

答 特定健診3600人のうち受診勧奨判定値の方300人の中の10%を対象にする。生活習慣病重症化予防対策のノウハウを得て今後につなげていきたい。

問 地番図・公図デジタル化について、その内容は。町民がどのようなケースで使うのか。

答 紙ベースからデジタル化するものである。公図をコピーする場合、紙ベースでは古いうえに範囲が絞りにくく分かりづらかった。その点が改善され、町民にとってはメリットとなる。

問 自動体外式除細動器賃借料の計上の経緯は。また、使用実績は。

答 従来は各施設での買い取りであったが、パッドやバッテリーは短期でメンテナンス等の管理が必要となるため、リースのメリットを考えて5年契約でのリースとした。賃貸業者が適切に管理するため、常時万全な体制で使用が可能となる。使用実績はない。

問 建築物耐震化促進事業について、利用人数は。広報等で今後更にPRしていく予定は。

答 平成27年度は利用者がなかった。これまでも広報・HPで周知はしているが、今後更に強化し実施していきたい。

問 観光マップ・ポストカードは何部作成するか。また、どのように配布・使用するのか。

答 まるかじりマップは2000部を作成し、ポストカードはフォトコンテストの優秀作品を1000枚用意する。マップは役場や四季の里等に配布するほか、観光振興にかかわる事業での配布を考えている。

問 湘光園の公園用地買収について、管理費の予算は計上しているか。

答 契約は9月に行なわれ、管理はそれ以降となるため計上していない。年間数百万円かかる見込みである。

問 幼稚園における預かり保育の非常勤職員は保育士としての資格を持つ者か。

答 要件に資格の設定はしていない。



町の魅力がつまった大井まるかじりマップ

特別会計

国民健康保険

問 高額療養費に関して、自己負担の段階が増えたことによる影響額と対象者は、予算の算定根拠は、

答 区分ごとの算出はしていない。予算は過去の実績値に基づく。

問 平成28年度において、国保税率等改定の考えはあるか。

答 改定の考えはない。

問 平成30年度に運営が県に移行すると、資産割がなくなる可能性があると思われるが。

答 広域化に向けては、各市町村の経営状況を鑑み、税の体制は変わらな

問 保険の税率等保険の仕組みは県下統一ではないということか。保険者は神奈川県なのか、大井

町なのか。

答 県の説明の中では、各保険者の現状の運営形態を引き継ぐのが原則ということである。標準税率との差をどうするかなどの説明は今のところない。資産割の扱いは、平成24年に税改正をした時に割合を減らすとしたところである。

問 県は市町村とともに運営するとしているが、保険者が誰かは定かではない。財政運営は県が責任を持つと明確になつていて市町村は県に事業費を負担するしくみだ。

問 コンビニ収納手数料について、減額の理由は。



無診療世帯に配布されるスイーツクーポン券

答 平成28年度は年間5000件の利用を見込んだ。コンビニ収納の利用は着実に伸びているが、平成27年度については、納付書の最大件数を見て予算建てをしていたため実績値に基づいて試算した平成28年度は減額となった。

問 税の基になる療養諸費について今後の見込みは。また、保険税を減らした理由は。

答 療養諸費は0・28%の伸びである。医療費は高止まりとの認識を持つている。保険税を減少見込みとしたのは、人数の減少によるところである。

問 ジェネリック医薬品の利用割合は。また、未病政策についての取組みは。

答 全医薬品に対して平成25年度は27・9%、平成26年度は32・3%をジェネリック医薬品が占めている。

健康増進を啓発するパンフ配布、無診療世帯に

スイーツクーポン券を配布するなどの施策を行っている。また、チャレンジー参加の呼び掛けなども行っていく。

後期高齢者医療

問 保険基盤安定繰入金について、軽減世帯の現状と今後の見込みは。

答 平成27年度予算では900人から1100人へと増えている。後期高齢者の人数も増える見込みなので軽減世帯も増える可能性がある。

問 保険料滞納繰越分の未納残高は。

答 概ね20万円が現状の未納額である。

問 普通徴収の割合が増えると滞納が増加するところが予想されるが、対策は。

答 現年分として99・95%を徴収目標に対応している。普通徴収、特別徴収区別なく滞納繰越分を出さないように徴収努力

下水道事業

を継続しているところである。収め忘れといった方もいるため折衝を続けていく。

問 公共下水道汚水管渠等布設工事費について、区画整理地内では何年

答 区域内・外併せて約3・8キロあるが、平成30年度にかけて区域内の整備を予定している。残りの二か年でのポリユー

ムは相当程度のものであるが、しっかりとやって

いきたい。業者の選定は町基準に則り進めていく。なるべく地元業者を利用する考えを持っている。

問 下水道アクションプラン策定委託料について、その経緯と内容は。民間事業者の活用見込みは。

答 大井町の整備率は約80%から90%であるが、今後10年間で達成しようというものである。全国的に整備がなかなか進まない中で、国が進めるに至ったものである。平成28年度中に活用について検討する。



今回は強敵青森県藤崎町 勝利を目指して

問 アクシヨンプランにおいて、山田地区の下水道整備はどう決定されたのか。

答 アクシヨンプランは現実的なプランを立てることになっているため、再度検討が必要であると考えている。

問 相和地区の意見聴取はどのように行っのか。

答 過去に実施したアンケートでは要望がでていた。しかしながら本当下水道整備が必要となるのかよく精査しなければならぬ。費用対効果を含め、安易に決めてはならない問題である。

介護保険

問 総合事業に平成28年度から移行することで生じる影響は。また、10%特例の有効活用策は。

答 一概に比較はできないが保険料に影響はないと考えている。多様なサービスを提供すべきではあるが、今すぐに特例を有効

利用できるような状況ではない。

問 基金の残高は。

答 平成27年度末686万4000円を予定している。

問 基金が6800万円ある中で、一時借入金利

子15万円を見込む理由は、基金を使うことが可能ではないか。また、利率は適正か。

答 基本的には使うことは可能であると思うが、短期ですぐに借入が必要になる場合を含めて一會計を運営するにあたり必要な予算であると考え、利率については予算に大きく影響するところではないが、今後の検討課題とした。

水道事業会計

問 施政方針の中で、「料金改定も視野に入れている」との文言があるが、考えは。また、改定に踏み切る際の根拠は。

答 給水人口の減、料金収入の減が全国的かつ近隣市町村においても問題となっている。起債償還のピークを平成31年度に迎える中で料金改定も考えなければいけないという意味である。平成27年度で施設更新基本計画を策定し、以後15年で更新していく中で概算の費用が算出されたので、計画を進める際の判断材料とする。

第1回臨時会

2月12日に開催され、条例改正等6議案を審議しました。

条例

大井町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 (賛成全員)
* 人事院勧告に伴う職員

予算審査特別委員会

平成28年度の予算審査にあたっては、本会議の審議において特別委員会設置の動議が出され、企画経済・教育福祉それぞれ4名を選出し合計8人の委員会が組織され、3月11日・15日の両日で、詳細な審査を行った。

委員長 北村 正夫
副委員長 細田 勝治
委員 鈴木 武夫
委員 石井 勲
委員 片野 昭
委員 瀬戸 和雄
委員 伊田 徳之
委員 伊藤 奈穂子



補正予算

給与の改定と地方公務員法改正に伴う級別標準職務表の条例への明記を行うもの。

問 給与を上げるときは遡及し、下げるときは遡及しないが、基準はあるのか。

答 国の方針にならっている。

一般会計

(第5号) (賛成全員)

* 人事院勧告に基づく給与改定と人事異動に伴う増減額を歳出の予備費で調整。予算総額変更なし。

国民健康保険特別会計

(第3号) (賛成全員)

* 人事院勧告に基づく給与改定と人事異動に伴う増減額を歳出の予備費で調整。予算総額変更なし。

下水道事業特別会計

344万3千円を減額するもの。

(第3号) (賛成全員)

* 人事院勧告に基づく給与改定と人事異動に伴う増減額を歳出の予備費で調整。予算総額変更なし。

介護保険特別会計

(第2号) (賛成全員)

* 人事院勧告に基づく給与改定と人事異動に伴い、180万4千円を減額するもの。

水道事業会計

(第1号) (賛成全員)

* 人事院勧告に基づく給与改定と人事異動に伴う増減額を歳出の予備費で調整。予算総額変更なし。

町民に負担のない施策をしる

―平成28年度一般会計反対討論―

曾根田 徹 議員

町の平成28年度一般会計予算歳入では国の法改正にともない新税率により町税の法人税は約6400万円の減収となる。これは「地方自治体財政力のアンバランス解消」を掲げての法人税割による税率

が下げられたことによる減額だが、国は地方交付税総額を減額している。低所得者、年金生活者等に厳しい施策である。

一般寄附金では2901万円見込んでおり、内訳としてふるさと納税が

1200万円、宮地自治会館新築工事費、約3500万円に対し寄附金として1701万円を計上しているが、宮地自治会館新築工事に対する町民からの寄附を止めて、財政調整基金の残高10億5千万円の一部を取崩して活用するの

反 対

が町民に対する施策である。町民の生活と暮らしを守れない予算対応になっているので反対である。

歳出では、第一生命保険株式会社の社宅跡地にある公園用地を約2億2千万円で買収し、パークゴルフ場の整備も視野に入れた土地の活用を検討としている。

しかし、検討と言う曖昧な言葉では町民を困惑させることになる。パークゴルフ場を作るのか作らないのか。または、公園等にするのかしつかりした考えでの説明がない土地買収に税金を投資することに対し承認できない。

以上のことから、施策が不十分だと申上げて反対討論とする。

町の発展に寄与する施策に期待する

―平成28年度一般会計賛成討論―

伊田 徳之 議員

平成28年度の一般会計予算額は歳入歳出それぞれ53億3000万円であり前年に比べ額にして8千万円、率にして1・5%の増であり近年ではもつとも大規模な予算編成となった。

歳入については景気回復基調が聞かれるなか、その中核をなす町税のうち固定資産税や町民税個人分の増額を見込んだものの町民税法人分については新税率適用の影響を受け大幅な減額を見込んだ。そのような緊迫した財政状況の中でも事業の執行に必要な財源を基金からの繰り入れや町債の発行によってしっかりと対応している。

賛 成

歳出では大井小学校のプール改修や大井第二幼稚園における床の張替え、また各幼稚園へのエアコンの設置など良好な教育環境を引き続き整備していくと

いう町の方針には大いに共感する。また町内のあらゆる施設の照明、および防犯等を一齐にLED化する取り組みは町民福祉の向上に大きく寄与するものであると言える。その他、地域活動スタートアップ助成金の新設・宮地自治会館の新築など協働の街づくりを推進する事業や子育て支援に関する各種施策の充実など町の将来の発展を見据えた事業が多く見られた。

町制60周年の節目の年を迎えるにあたり、町の発展に大きな期待を抱かせる予算編成であると確信する一方、動き始めた未病対策事業やそれに伴う土地利用、大井町中央土地区画整理事業による市街地形成等は町の今後を左右する問題として引き続き鋭意取り組みで頂くことを強くお願いし、賛成討論とする。

条例

大井町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例(新規) (賛成全員)

*農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数について、条例で定めることとされたもの。

問 委員定数の下限はあるのか。
答 下限はない。

問 農業委員会が扱う土地利用に関する案件の年間件数は。
答 約30件である。

問 両委員の定数を減らす考えはなかったのか。
答 今後は担い手への農地の集積や耕作放棄地対策、新規参入といった農地の有効利用の促進をさらに強化する必要があることから適正な定員と考

える。

大井町農業委員等候補者選考委員会条例(新規) (賛成全員)

*農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員会の委員及び農地利用最適化委員候補者の選定について、地方自治法の規定に基づき、附属機関を設置するもの。

問 選考委員会への推薦は誰がするのか。
答 自薦、他薦が可能。一般からも応募できるが町で決めることはない。

問 応募が定員以上の場合の判定基準はあるのか。
答 客観性を考慮し、判定基準や結果公表等詳細は制定後に規則を設ける。

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例。
(賛成全員)

*農業委員会等に関する

法律の一部改正に伴い、農地利用最適化推進委員及び農業委員等候補者選考委員会委員について、その報酬を定めるもの。

問 農業委員会と最適化推進委員の仕事の違いは。
答 農業委員と最適化推進委員は一つの組織であり、農業委員は農地の権利移動や農地転用の審議推進委員は農地の有効利用のため、農地の調査や農家の指導などを行う。なお、農業委員も推進委員と連携して活動してもらう。

問 最適化委員は農業委員会の活性化のためにも、双方は独立した組織にするべきだ。
答 二つは一体化して共同で対応する。

証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例
(賛成全員)

*農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、

所要の改正を行うもの。

行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例(賛成12反対1)

*行政不服審査法の施行に伴い、関係条例の整理等その他所要の改正をするもの。

問 審査の手続きについてどのように公平性を確保するのか。
答 審理はまず案件に係らない町職員が審理員として意見書を作成し、県の第三者機関へ諮問する。その後、専門性のある委員が審査を行うため公平性は保たれる。

大井町介護保険条例の一部を改正する条例
(賛成全員)

*介護予防・日常生活支援総合事業の実施にあたり、所要の改正をするもの。

問 1事業300円が利

用料1回につき300円に変わるが、事業内容に変化はあるのか。
答 変わらない。

大井町消防団条例の一部を改正する条例(賛成全員)

*火災や風水害等の災害時の出動に対して支払われる出動手当を増額し、消防団員の処遇を改善するもの。

問 一回の出動手当を1000円にした理由は。
答 2市5町の実体を勘案した。

大井町交通指導隊設置条例の一部を改正する条例(賛成全員)

*町事業への活動に対して、活動手当を支給し、交通指導員の処遇改善を図るもの。

問 活動手当は消防団と同じ1000円にすべきでは。
答 消防と違い急な出動はなく、予定された活動

であるということを勘案した。

問 自治会等からの要請は手当が出るのか。
答 防災安全室を通じた出動であれば対象になる。

問 活動日程は決まっているものの報酬の支給にばらつきはあるのか。
答 出動の出欠による報酬の上下は考えていない。

大井町立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例(賛成全員)

*町立幼稚園保育料の区分について、子ども・子育て支援法に基づく国基準の変更に対応し、併せて平成28年4月からの町立幼稚園の一時預かり保育の保育料を変更する必要性が生じたため、所要の改正を行うもの。

問 第4階層は将来の増額を想定しているのか。
答 現在は想定していないが検討課題だ。

問 それなら所得階層を分ける必要はないが。
答 保育料に所得制限があるというだけで、現在は考えていない。

協議

大井町と神奈川県との間における行政不服審査会の事務の委託に関する協議

(賛成12反対1)

* 地方自治法の規定により、大井町と神奈川県との間における行政不服審査会の事務を規約により委託することに関し同県と協議するため、法の規定により議会の議決を求めるもの。

問 大井町では過去何件の申請があったのか。
答 平成17年に1件だけ。

問 1件29万6千円の手数料の基準はなにか。
答 2回行われる審査会の人件費と事務経費。

字の区域等変更

字の区域及び名称の変更

(賛成全員)

* 旧湘光園地内の宅地開発に伴い、帰属する大字上大井・西大井区域を変更するもので、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるもの。

問 旧湘光園の宅地造成区域は西大井ということだが、買収する公園用地の字は上大井に統一するべきではないか。

答 開発区域については該当する自治会と相談して決めた経緯がある。公園用地については、公園であるため現行の字で支障は生じないと考える。

認定

大井町道の路線の認定

(賛成全員)

* 寄附行為を受けた開発道路の路線認定を道路法の規定により議会の認定

を求めるもの。



町道認定 294号線

補正予算

一般会計

(第6号) (賛成全員)

* 歳入、歳出共に年度末における事業費の確定及び執行残の計上によるもの。補正額5681万5千円の増額。

問 平成27年度末の基金積立金残高はいくらか。
答 財政調整基金は13億余円、教育施設調整基金は5億2千万余円になる。

特別会計

国民健康保険

(第4号) (賛成全員)

* 年度末の最終補正であり、国・県出金の確定等によるもの。歳入歳出それぞれ128万円の減額。

下水道事業

(第4号) (賛成全員)

* 受益者負担金は増額になるものの国庫負担金や町債は減額になる。2607万円の減額。

介護保険

(第3号) (賛成全員)

* 国・県の負担金及び繰入金の減額、歳出における積立金増額により921万7千円の減額。

水道事業

(第2号) (賛成全員)

電気料の消費税に不足が生ずるが予備費で充当するもの。増減額なし。

人事

大井町固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求めること

(賛成全員)

* 渡邊 文夫氏の任期満了に伴う後任者の選任。

石井 勝氏

(新任 赤田在住)

大井町金田財産区管理会の財産区管理委員の選任について同意を求めること

(賛成全員)

* 前任者の任期満了に伴う後任者の選任。

杉本 正春氏(吉原)
 片野 滋氏(根岸下)
 藤澤 誠一氏(市場)
 鈴木 薫氏(馬場)
 遠藤 通泰氏(宮地)
 小島 孝氏(金手)
 菅谷 学氏(金手)

大井町西大井財産区管理会の財産区管理委員の選任について同意を求めること

(賛成全員)

* 前任者の任期満了に伴う後任者の選任。

田村 修彦氏(西大井)
 柳川 征治氏(西大井)
 川鍋 弘氏(西大井)
 鍵和田 稔氏(西大井)
 岡部 長氏(西大井)
 堀内 洪氏(西大井)
 熊澤 博之氏(西大井)

選挙

松田町外三ヶ町組合議会議員の選出

(賛成全員)

* 鈴木 静氏の任期満了に伴う後任者の選出
 小島 孝氏(金手在住)

陳情

大井町「パークゴルフ場建設」について

※要旨

町民の健康増進と町の発展のため、パークゴルフ場を早期に建設してほしい。

▼審査状況

この陳情は、教育福祉常任委員会へ付託された。

委員会では、陳情人たる「町パークゴルフ協会役員」に説明機会を提供し意見を求めたうえで審査を行い、「町民の健康増進に寄与する施設であることから設置の必要性は認めるものの、願意にある全国大会を視野に入れた36ホールの施設規模は、用地確保からして困難である。」との意見の一致を見た。

▼議決結果

委員会 不採択

本会議 不採択

(賛成者なし)

審議した議案と審議結果 (平成28年3月定例会)

○は賛成 ×は反対
清水豊司議長は、採決に加わりません。

議案番号	議案名	清水	諸星	伊藤	曾根	神保	細田	伊田	瀬戸	北村	小田	片野	石井	鈴木	審議結果
	議員名(議席順)と審議結果	重樹	光浩	奈穂子	徹	京子	勝治	徳之	和雄	正夫	眞一	昭	勲	武夫	
7	農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
8	農業委員等候補者選考委員会条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
9	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
10	証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
11	行政審査不服審査法の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
12	介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
13	消防団条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
14	交通指導隊設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
15	町立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
16	大井町と神奈川県との間における行政不服審査会の事務の委託に関する協議	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
17	字の区域及び名称の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
18	町道の路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
19	平成27年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
20	平成27年度国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
21	平成27年度下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
22	平成27年度介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
23	平成27年度水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
24	固定資産評価審査委員会委員の選任同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
25	金田財産区管理会の財産区管理委員の選任同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
26	西大井産区管理会の財産区管理委員の選任同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
27	平成28年度一般会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
28	平成28年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
29	平成28年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
30	平成28年度下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
31	平成28年度介護保険特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
32	平成28年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

問 おおいゆめの里の計画は一段落し次の段階にきているのか。

地域振興課長 基礎的な工事は終了した。多額な費用がかかる部分は断念したが、魅力を高める必要がある。

問 ローラー滑り台、アスレチック、ドッグラン等ファミリーが一日過ごせる設備を設置する考えは。



「おおいゆめの里」当初予定した整備計画は完了しているか

答 基礎的な造成工事等の整備は終了している

清水 亜樹 議員

地域振興課長 一日遊べる施設があることが理想。相和活性化委員会、育て隊と方針を固めていく。

【大規模水害について町の取り組みは】

問 タイムライン（防災行動計画）策定の考えは。

町長 台風など事前にある程度、見通せる災害に対しては有効。今後検討していく。

問 ハザードマップ見直し計画は。

町長 今年度末までに県が、急傾斜地の指定を予定し河川の基準水位見直しも行っている。この結果を反映したものを策定



「おおいゆめの里」見頃を迎えた早咲き桜

していく。

問 ハザードマップに町内の溢水箇所を考慮して作成する考えは。

防災安全室長 豪雨時には都市化による排水機能低下等があるので、担当課等と連携した中で作成していく。

問 町民に避難を呼びかける手法として、あんしんメールが有効と考えるが、加入率は。

防災安全室長 正確な細かな数字ではないが5500件の登録がある。さまざまな場面で登録を促していく。

問 未病を治す事業等、具体的に動き出しているなかで町民の健康促進・介護予防のための方策として健康ポイント制度の導入は。

町長 先進事例や県のICTモデル事業の実証結果を参考にするとともに、県の未病を治す施策の関連性を考慮し検討する。

【子育て支援について】

問 産後ケアのさらなる取り組みとして広域連携を踏まえたうえで、シヨーステイやデイケアについてのは。

子育て健康課長 医療機関等のハード面等考える

健康ポイント制度導入は

答 県の未病を治す施策を考慮し検討



伊藤 奈穂子 議員

と難しい。

問 妊娠中や出産後において、心身の不調により支援が必要な世帯への家事や育児の負担軽減を目的としたヘルパー派遣事業を取り入れる考えは。

子育て健康課長 需要が多ければ考えるが現時点では考えていない。



健康マラソンスタート!!

問 病児・病後児保育についてファミサポでの事業展開は。

子育て健康課長 病後児保育について検討はしているが具体化していない。今後検討しながら取り入れていきたいと考える。

問 ファミサポの対象年齢を小学校6年生までに拡充する考えは。

子育て健康課長 本年4月から児童コミュニケーションクラブに合わせて小学4年生までに拡大する。

【新しい総合事業について】

問 今後の取り組みとして協議体や生活支援コーディネーターの設置は。

介護福祉課長 検討する。

消火栓設備のメンテナンスは

答 管轄する各分団が行っている

諸星 光浩 議員



問 消火栓の使用方法の啓発活動は行われているか。

町長 総合防災訓練以外であつても地域の要望があれば、管轄の消防団の派遣や消防職員OBを雇用して出前講座として地域に派遣している。要望があれば喜んで馳せ参ずる。

問 消火栓ホースの耐用年数を考慮すると毎年100本位交換が必要だが、例年購入数75本とか50本で少ないと思うが。

いがあると歴代教育長に言ってきたおり、考えていく必要があると思つてゐる。国際理解教育の中で町独自の雇用としてA



100m以内に設置されている消火栓とホース格納箱

防災安全室長 すべて耐用年数で交換していくことは予算的に難しい。

【小学校の英語教科化について】

問 次期新学習指導要領の小学校の英語教科化に伴い、本町では先行した取組は行わないのか。

町長 本町の英語教育は、国際理解教育といつてゐるが、国際理解することと言葉が喋れることは違

LT（外国語指導助手）・JTE（日本人英語講師）・学級担任による活動に取り組んでおり、上大井小では実践研究を行い全県へ成果を発表している。

問 相和小学校が特認校になるので1年生から波及させたらどうか。

教育長 相和小学校には他の小学校に比較して若干多く派遣している。

町の交通安全対策は

答 交通安全プログラムを策定した



曾根田 徹 議員

大人の目線で親子一緒に学びの場を提供してはどうか。

問 交通安全対策として、要注意箇所を記したマップを作成し、町民や転居してきた方に危険箇所を知ってもらふ必要があるのではないか。

防災安全室長 学校、幼稚園で親子ということで開催している。子どもを親が守るという気持ちの中で保護者にもかかわってもらいたい。また、出前講座も周知している。

教育総務課長 各小学校では、集団登校、下校時に注意箇所を注意しながら登下校する取組みや通学路マップは出来ている。

通学路交通安全プログラムの作成指示が全国に対して出されている。7月に向けて一斉に点検し結果をHP等で公表して行く。

問 親子の交通安全教室を開催し、子どもの目線



道路改良工事現場

問 子どもを巻込んだ事故等を起こさない働きかけとして、車を運転する人の町独自で講習をやる考えはないか。

防災安全室長 必ず更新時に講習会があるので、町独自に運転免許証を持っている方への特別講習をやるつもりはない。

問 町全体の道路を見ると停止線、歩道等の線が見えなくなっている。今後の整備計画について伺う。

都市整備課長 通学路交通安全プログラムの中で都市整備課、防災安全室等からの細かい情報等をもとに、今後対応をしていきたいと考えている。

問 大手法人の公園用地を買収してパークゴルフ場の整備も視野に入れた利活用の検討とは。

町長 本公園の利活用については、多くの町民からパークゴルフ場の建設要望を聞いている中、協会・町民の皆様の熱意・協力が得られるか、町が



公園買収、パークゴルフ場の整備を視野に入れたとは

答 協会・同好会の皆様の熱意を感じたときは出来ようか

石井 勲 議員

整備したものを有償ボランティアの中で管理運営できるくらいの力を持っていたら、同好会・協会・皆様の熱意を感じた時はできようかと思う。

問 小学校改修は中学校と同等の整備方針か。

町長 各学校の調査をした所、躯体の強度を脅かす危険箇所はなく、爆裂やひび割れ等外壁の劣化防水機能の低下との指摘があり、これらの改修と空調設備を基本に順次各小学校で実施していく予定。



パークゴルフ場整備も視野に入れた買収予定公園

【近隣市町村連携】
問 小田原・南足柄両市の協議会設立と連携の先に見える合併に対する町長の考えと町の対応は。

町長 安定的な行政サービスを継続的に市民に提供可能な体制を構築するとともに、県西地域の広域連携体制の強化策として合併や事業連携にとどまらず、国の制度を活用した新たな連携のあり方を検討・協議していくと説明を受けた。5町の広域行政内容をどう進めるか検討会を立ち上げ座長を引き受けた。

問 合併協議の熟度が増したら住民投票も一つの判断材料になるのでは。

町長 私は議会の意見を尊重する。合併等の重要案件があれば皆さんの意見を聞くために住民投票を行うことも出来る。

問 新たに創設する「地域活動スタートアップ助成金」の目的と概要は。

町長 公益活動増進を目的とし、補助金公募制度での1年以上の活動実績の交付要件は不要で資金支援をする。設立経費及び運営経費として10万円を上限に2年間助成金を交付する。



協働推進の体制整備が必要ではないか

答 協働の原則は明文化、専門部署は現状では困難だ

小田 眞一 議員

募審査会で行い、必要性が判断されたら選考・認定機関設置を考える。

問 協働推進の原則を明文化すべきでないか。

町長 必要性は感じている。早期に検討し、策定に努力したい。

問 町の重要施策である「協働のまちづくり」、推進窓口となる専門部署等

の設置が必要ではないか。

町長 協働の手法や制度の相談、新規に地域活動をする団体の相談窓口は一本化する必要がある。だが人事面・財政面で現状無理ではないかと思う。

問 「協働」はまちづくりの重要な分野で今後も広範な可能性を秘めている。本町の重要施策に挙げておきながら町民が相談をする環境が不十分だ。課を作るとまではいかずとも、せめて看板一つも掲げた相談窓口ぐらい設置すべきだ。

企画財政課長 「スタートアップ助成金」実施に当たっての相談窓口は位置づけたいと思う。



協働の推進窓口となる「市民活動支援センター」伊達市

相和地域は活性化するか

答 相和ブランドの創出により地域の活性化をめざす

鈴木 武夫 議員



問 相和ブランドの創出とは何か。

町長 相和地域全体を一つのブランドに見立て、地域全体の活性化へとつなげていきたい。

また、相和ブランドの積極的な発信による更なるにぎわいの創出を図る。

問 相和地域活性化委員会の活動内容は何か。

町長 町が行う相和地域

活性化に関する重要な方針決定の段階において、意見をいただく。

成果として、四季の里の休憩所の整備・施設の看板の充実・おいゆめの里の花木等の植栽・農業体験事業の備品の購入・四季の里まつりの充実などである。

問 相和地域活性化委員会の今後の活動計画は何か。

町長 活性化委員会の下部組織として相和地域活性化部会をつくり、地域住民生活等緊急支援交付金により、相和地域の活性化を目的とした地域活性化事業支援委託事業を実施している。

問 町道501号線の全線開通はいつか。

町長 現在約880メートルが整備済みで、きらめきの丘おい内約600メートルは平成30年度までに整備する。

町道6号線までの約600メートルの区間は、多額の費用と工期を要するが、早期完成に向け取り組む。

問 相和小学校を相和ブランドにし、一つの方向性を持った学校にする考えはあるのか。

教育長 来年度が第一歩である。特色ある教育を推進する中で、いくつかの手は打っている。



相和小学校は相和ブランドになるのか?

お知らせ 議会報告会

次の日程で開催します。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

期 日	場所・時間	内 容
5月19日(木)	そうわ会館 午後7時から	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度予算の審査経過 ・委員会の活動状況 ・意見交換
5月20日(金)	JA西湘大井支店 午後7時から	
5月22日(日)	生涯学習センター 午後1時30分から	

企画経済常任委員会

空き家対策に関する
政策提言を提出

企画経済常任委員会の

活動方針に取り上げた項目に、社会問題になりつつある空き家対策についてであるが、まず委員会として空き家の調査・研究を取り上げ既に一部の自治体で、実施されていた空き家調査の実態を調べ、これを参考に我々独自の「外観目視による空き家調査票」を作成した。内容は、空き家判定指標6項目、建物区分2項目、敷地・建物の状況6項目、周辺状況2項目等を調査項目にして、町内全域を地区別に分担し、各地区の自治会長の協力を得ながら、徒歩にて調査を実施した。（この資料は、町へ提供した）

また、空き家活用促進事業で先進的な取り組みが成果を上げている高知

県西北部に位置する梶原町を視察し研修を受けた。（議会だよりNo.184号に掲載）

次に近隣の自治体で既に、定住対策室を設け、成果を出しつつある山北町を視察し研修を受けた。

山北町の定住対策は

- 1 総合対策事業大綱
- 2 空き家バンク事業
- 3 定住促進・対策関連の取扱いなど

この中で特に「空き家バンク」については、平



成21年度から、地域住民の協力・民間団体との協定を結び「空き家バンク」を運用しており、問い合わせ件数・登録件数・契約成立件数 などで成果がでており、おおいに参考となる視察であった。

本委員会は、1年半にわたる調査研究の成果を、政策提言書にまとめ議長に提出、2月28日、議長から町長に提出された。

教育福祉常任委員会

ICT教育と相和小学校の取り組み

教育福祉常任委員会では

は去る2月29日に相和小学校へ学校視察を行った。昨年9月からスタートしたICT機器の活用について授業参観及び意見交換会の中で現状を知ることができた。

相和小学校でのICT教育は小規模特認校化に伴い魅力ある教育環境の創出という観点から導入された経緯がある。

ICT機器の活用においては「子どもが豊かに関わり合いながら学ぶ場」の創造、「主体的・能動的に学び合うための1つのツール」を基本的な考え方としている。とはいえ全教職員が不安からのスタートであった。そのなかで教職員同士の情報共有、毎日の相談・会談、事務職員との連携により

便利さ、よさの実感がつかめているとのこと。また、金沢星稜大学の佐藤幸江教授との共同研究も進められており、情報教育対応教員研修全国セミナーの大阪会場にて導入時の取り組みについて報告発表している。

授業参観では先生方の

真剣な取り組みとともに各教室、各学年でのタブレットや電子黒板を使って授業を受ける子供たちも一生懸命で、ICT機器を楽々と使いこなしている姿に感嘆した。

特に1人1台のタブレットを使用している授業では隣同士で積極的に意見を出し合っていたり、新しいことに挑戦している姿にICT教育の可能性を感じた。

現在、相和小学校にはICT支援員の配置はないが学習指導員がオ



マイティに授業の補佐をしていることは興味深い。相和小学校のICT教育は始まったばかりで板書ノートの取り方などまだまだ課題は多いと思われる。しかし、ICT教育はこれからの学校教育に必要な分野であると考え。教育福祉常任委員会としても今後の動向を注視していきたい。

● 町のこの人あの人 ●

大井町に住んで47年

今も元気に唄と踊りを楽しみに



吉原地区
またがわ 又川 生子さん

大井町で様々な活動
をしている又川生子氏
を紹介する。

昭和44年3月長女が
2歳11ヶ月の時に田ん
ぼが多く自然豊かな大
井町に家を持った。右
も左も分らない土地
での生活はとても大変
であったが、自治会の
活動、PTAに参加す
ることです子どもの父
母等と仲良くできたこ
から、大井町に住む人
たちの心のあたたかさ
を感じていたと話され
た。

夜、湘光中学校の校庭
での盆踊りで高知のよ
さこいを楽しく踊って
いるのを見ていたら、
生まれ育った高知の夏
を思い出した。

大井町と高知は気候
や環境が似ている懐か
しさもあつてか、これ
をきっかけに、ひょう
たん文化推進協議会に
入会した。

入会した当時は80名
から100名程のメン
バーで、よさこい練習
を毎週木曜日に体育館
で19時30分から21時
まで行い、練習の成果を

披露する場として、ひょう
たん祭りや町民体育
大会、産業まつり、施
設などに出向き、ボラ
ンティアで踊ったり唄つ
たりして多くの皆さん
に大変喜ばれ、やりが
いのある時間を楽しく
すごしている。

今では入会した時よ
りメンバーが減少をし
てしまい20数名となつ
たが、約20年近く経つ
た今でも元気に頑張つ
て活動が続いていると
のこと。

▼今も昔も幸せ
踊りだけでなく、小

さな頃からよく唄つて
いたことからカラオケ
大会や和太鼓のグルー
プにも参加してきた。
また、健康に気を付け
夫婦で大好きなパーク
ゴルフを楽しむ日々を
今も続けている。「子
どもと同居をしている
ので曾孫まで抱けてこ
んな幸せなことはあり
ません。

老いも若きも、住民
が元気で生き生きと過
ごせる住み心地の良い
大井町を私はこれから
も伝えて行きたい。」
と最後に語られていた。



町政を知る良い機会です

議会傍聴にお越しください

6月8日(水)午前9時 第2回定例会開催

編集後記

後期基本計画の初年度で
ある平成28年度は、町制施
行60周年を記念した事業を
展開して行く年となる。そ
の一つとして、30回目を迎
える「大井ひょうたん祭」
はブルックスHD敷地内で
開催する。富士山が良く見
える立地にあるので多くの
来場者を期待するとともに、
相和地区へ観光客を迎える
にあたって、環境美化、整
備の取り組みと合わせ「農
業体験施設・四季の里」「お
おいゆめの里」にも足を運
んでいただける工夫に期待
する。

曾根田 徹

